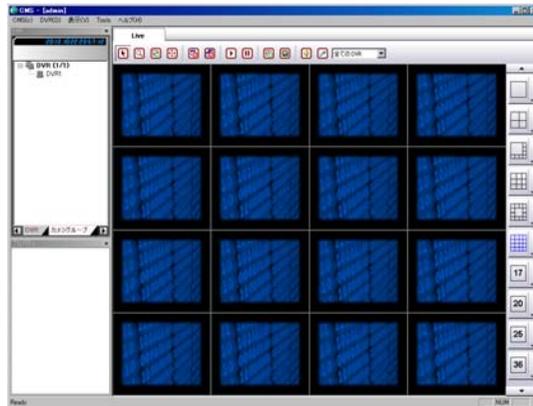


CMS

Central Monitoring System



Version 3.1

3D Corporation

目次

I.	CMS の特徴	
II.	コンピューターの仕様	
III.	CMS 基本操作	
1.	ログインとログアウト	3
2.	DVR 登録	3
3.	アカウント管理(ユーザー登録)	5
4.	アカウント権限管理	7
5.	オプション	8
6.	ライブ画面	13
7.	遠隔設定	19
8.	検索	29
9.	リモートバックアップ	30
10.	E-MAP	32
11.	イベントログマップ	34
12.	イベント画面	36
13.	SMART	38

[更新履歴]

このマニュアルは PowerDVR シリーズ TRD-9216、TRD-9816、TRD-H9104用のリモートソフトウェアCMSの設定、操作についての内容です。製品特徴や注意事項を熟知し大切に保管して下さい。

全ての設定は予告なく変更する場合があります。本書に記載されている内容については保障しますが、第三者の権利侵害に関していかなる責任も負いません。

お問合せ先

株式会社スリーディー

画像通信システム事業部

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1

TEL. 03-5431-5971(代)

FAX. 03-5431-5970

<http://www.3d-inc.co.jp/>

E-mail: info@3d-inc.co.jp

I. CMS 特徴

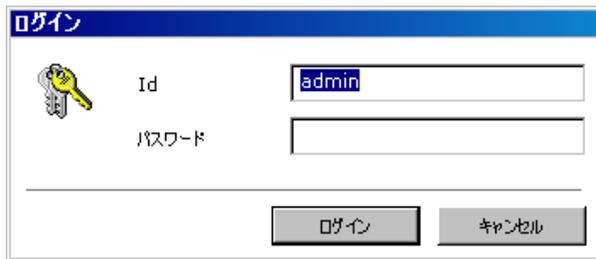
1. ひとつの画面で最大 144 チャンネルを同時監視
2. 多様な分割モード
3. 進化した E-MAP 機能。
4. 遠隔検索・遠隔バックアップ
5. データ改ざん防止
6. DHCP IP 支援

II. CMS をインストールするコンピューターの仕様

1. OS : Windows XP, Vista, Windows7
2. メモリ : 2GB 以上
3. CPU : Intel Core2Duo 以上
4. Explorer : Version 6.0 以上

III. CMS 基本操作

1. ログインとログアウト



- (1) ID[admin]
- (2) パスワード[333]

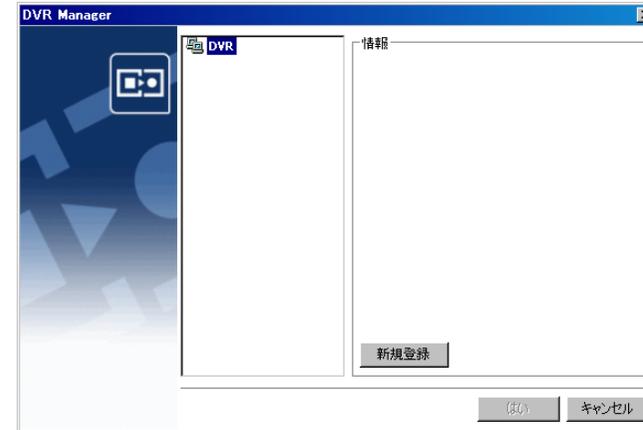
2. DVR 登録

※DVR の新規登録や DVR 情報の確認ができます。

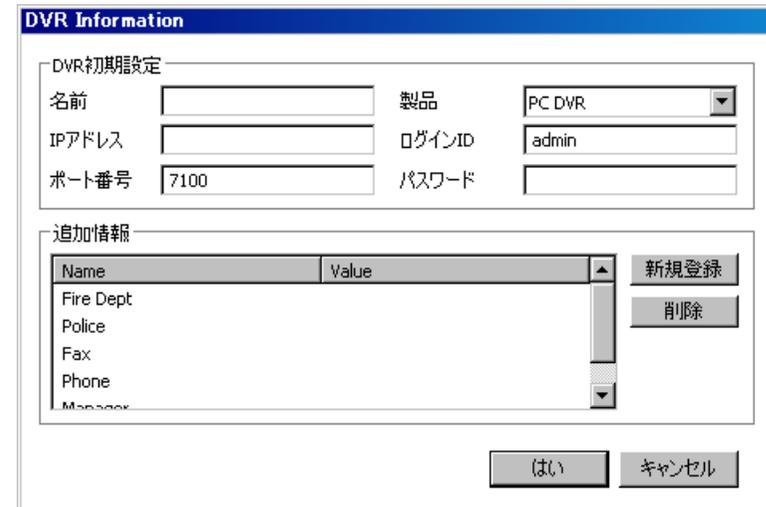
- (1) メニューの「CMS」→「DVR 管理」を選択します。



- (2) 「新規登録」を選択します。



- (3) 新規登録する DVR の情報を入力します。



- ・DVR の名前と IP アドレス、ログイン ID、パスワード、製品、ポート番号を入力します。

製品	該当製品	ポート番号(デフォルト)
PC DVR	TRD-9216, TRD-9816	7100
HD DVR	TRD-H9104	6000
Embedded DVR	OEM 製品	(問合せ下さい)

※ポート番号を変更する場合は、録画装置本体のポート番号も合わせて変更してください。

- ・DVR 運営に必要な情報がある場合は、「追加情報」として登録できます。
→ここで登録した情報は「システム情報」で確認することができます。



(4) 新しく登録された DVR が下図のようにリストアップされます。



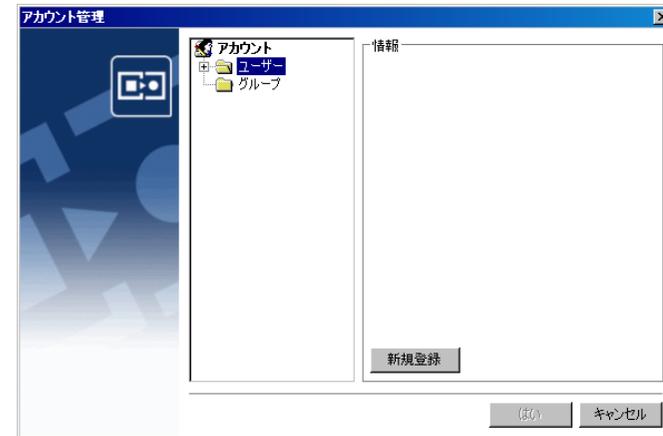
3. アカウント管理(ユーザー登録)

※ADMIN 以外のユーザー登録ができます。

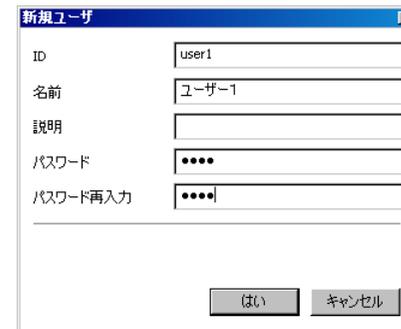
(1) メニューの「CMS」→「アカウント管理」を選択します。



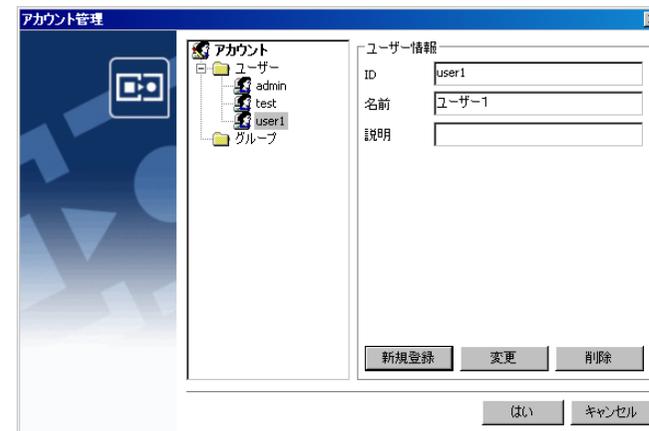
(2) 「ユーザー」を選択し「新規登録」を選択します。



(3) ユーザーに与える ID、名前、説明(任意)、パスワードを入力して「確認ボタン」を押します。



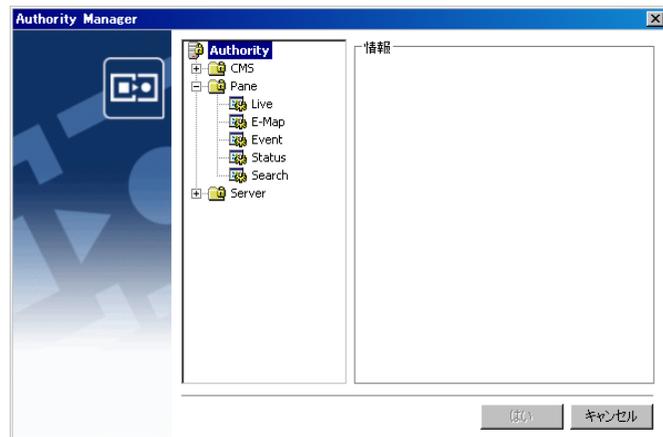
(4) ユーザー登録完了後、「確認ボタン」を押します。



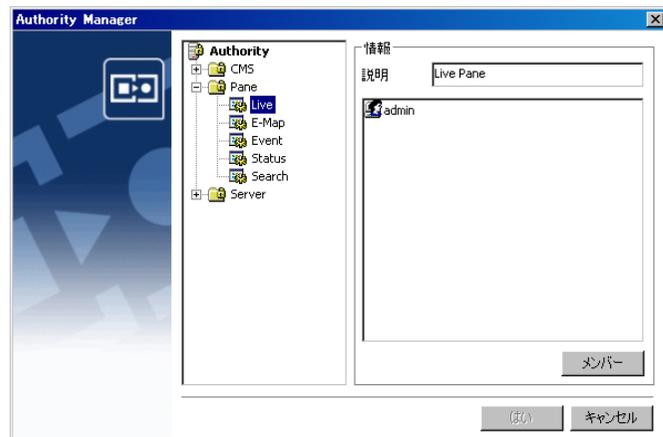
4. アカウント権限管理

※ADMIN は、それぞれのユーザーに権限を与えることができます。

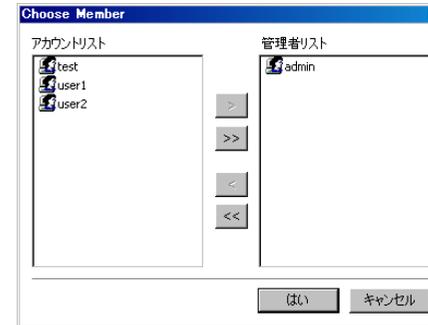
(1) メニューの「CMS」→「アカウント権限管理」を選択します。



(2) Pane リストから権限を設定するモード(ライブ、E マップ、イベント、ステータス、検索)を選択し、「メンバー」をクリックします。



(3) 権限を与えるユーザーを選択し、「>>」をクリックし、管理者リストに追加します。メンバーを追加後、「はい」をクリックします。



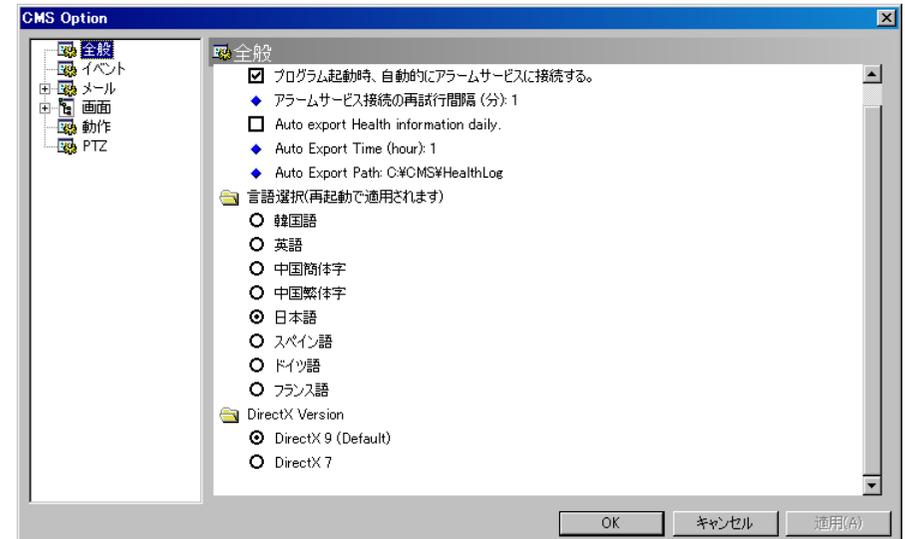
5. オプション

※CMS 運営に関する様々な設定ができます。

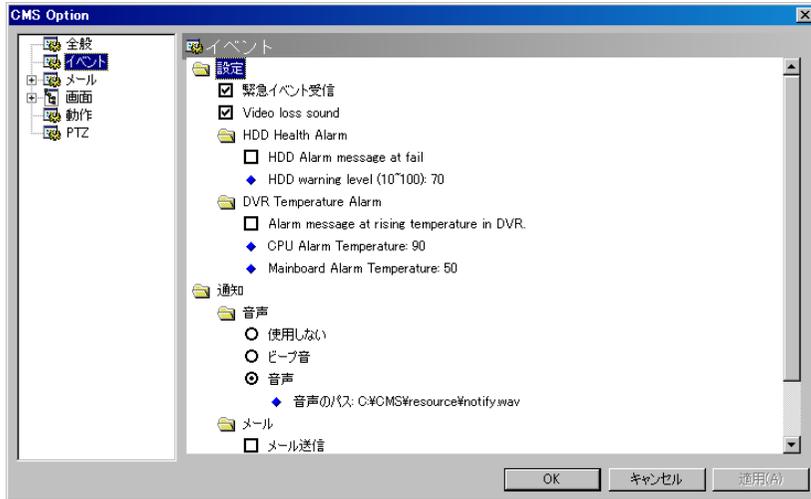
(1) メニューの「CMS」→「オプション」を選択します。



(2) 「全般」では CMS の運用言語や DirectX Version などの設定ができます。



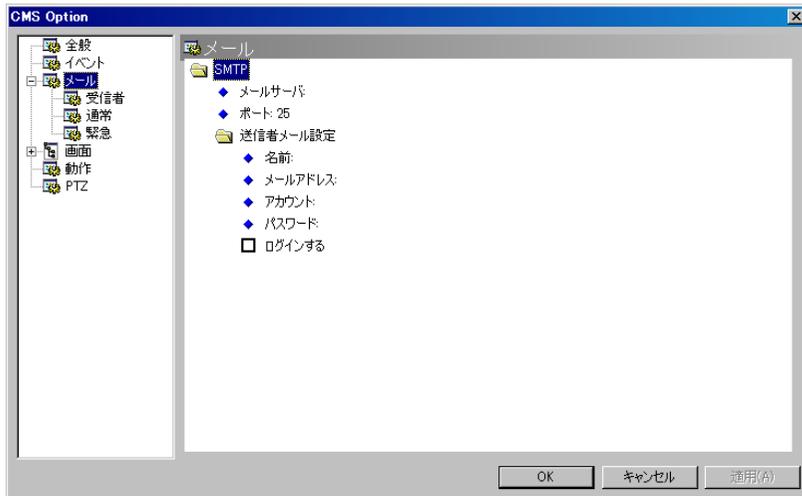
(3) 「イベント」では CMS 運用上、イベントに関する通知やメール送信などの設定ができます。



(4) 「メール」では CMS 運用上、イベント発生時の通知メールに関するメールサーバーの登録や送信者及び受信者情報などの登録ができます。

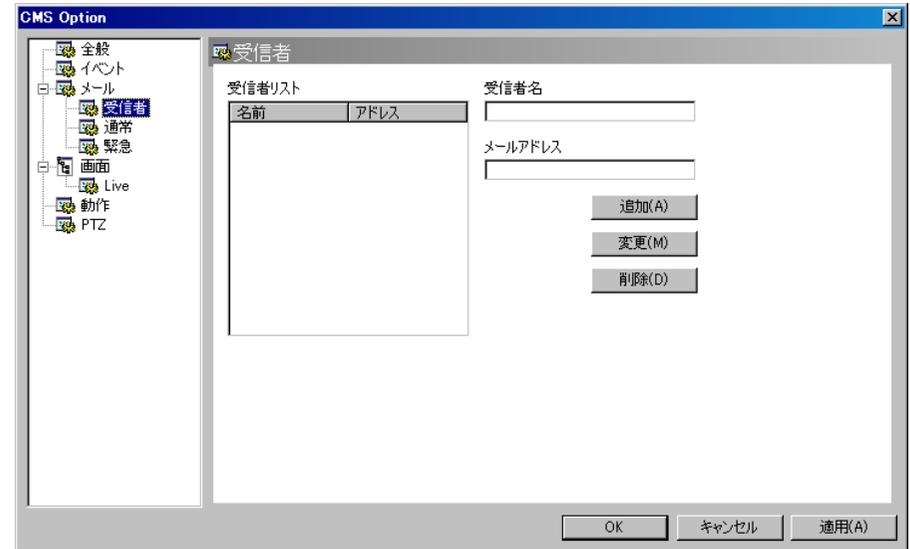
①SMTP メールサーバーの設定

メールサーバー等の情報は録画装置を設置されるネットワークのネットワーク管理者にお問い合わせください。



②受信者設定

メールを受け取る受信者名とそのメールアドレスを登録・変更・削除ができます。

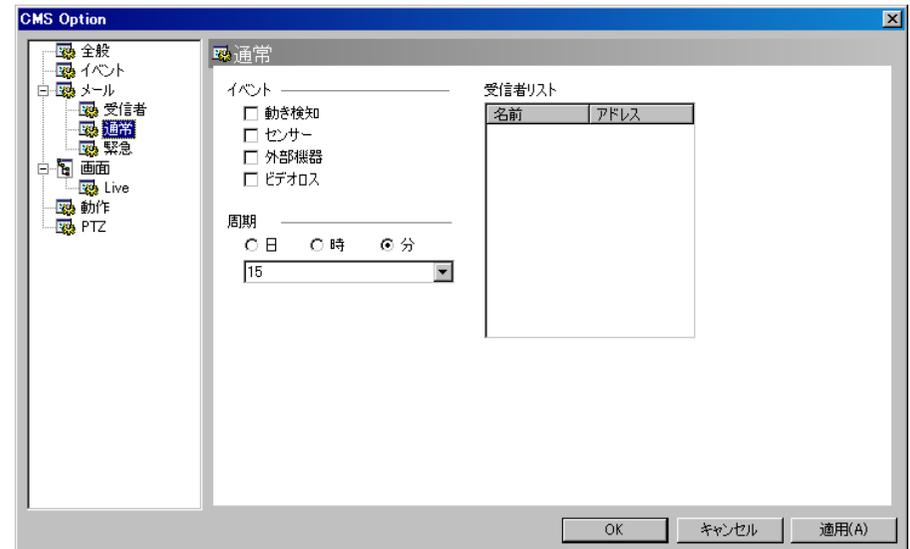


③通常

通常のお知らせメールでは、受け取りたいイベント項目、周期を設定できます。

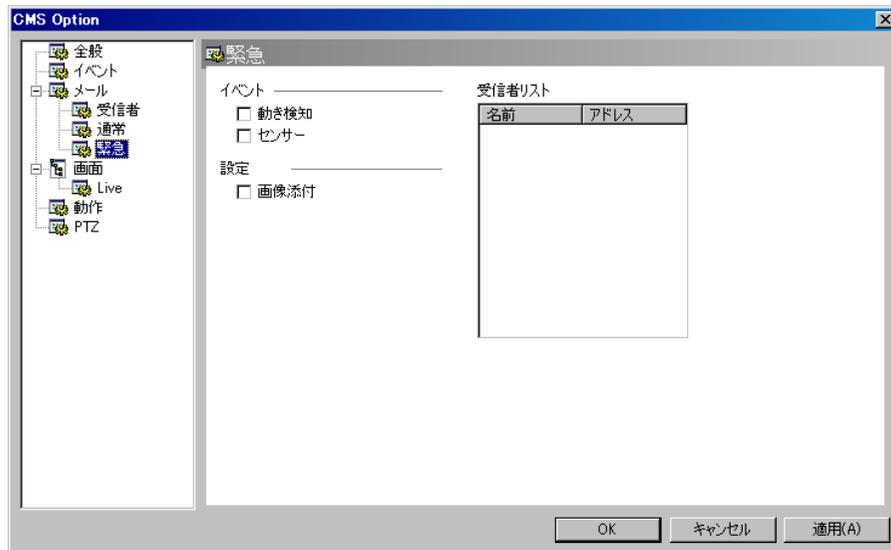
周期 日: 1~5、時: 1~23、分: 15~59

受信者を選択して設定します。

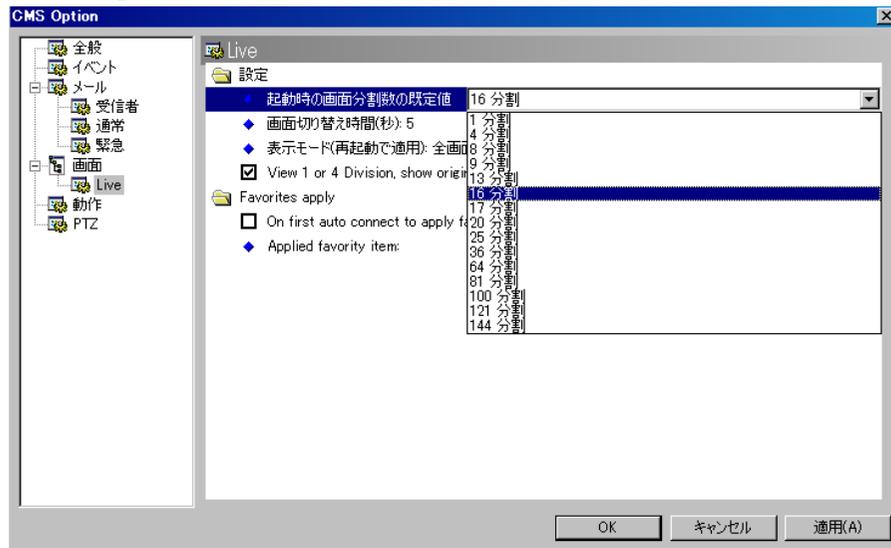


④緊急

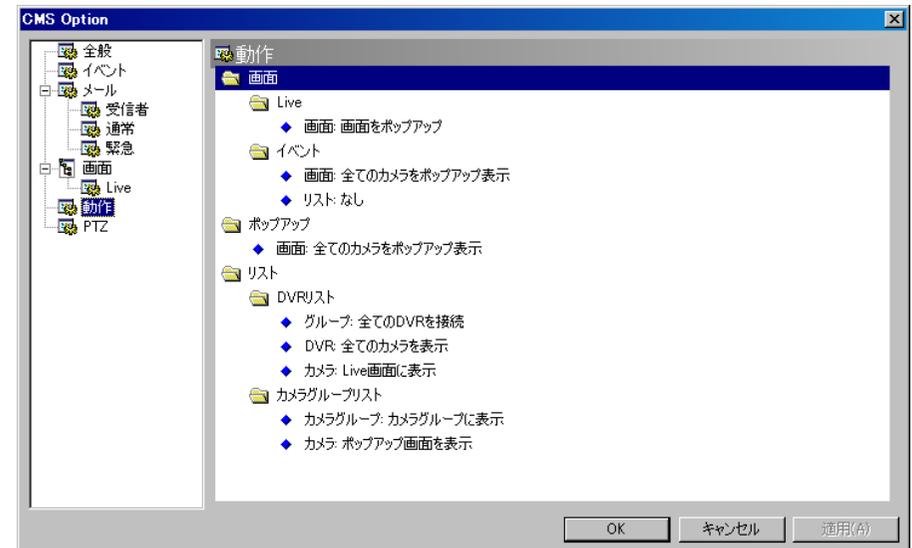
イベント「動き検知」「センサー」に対し、検知時の画像を添付したメールを受け取る受信者を設定できます。画像を添付する場合は、「画像添付」にチェックしてください。



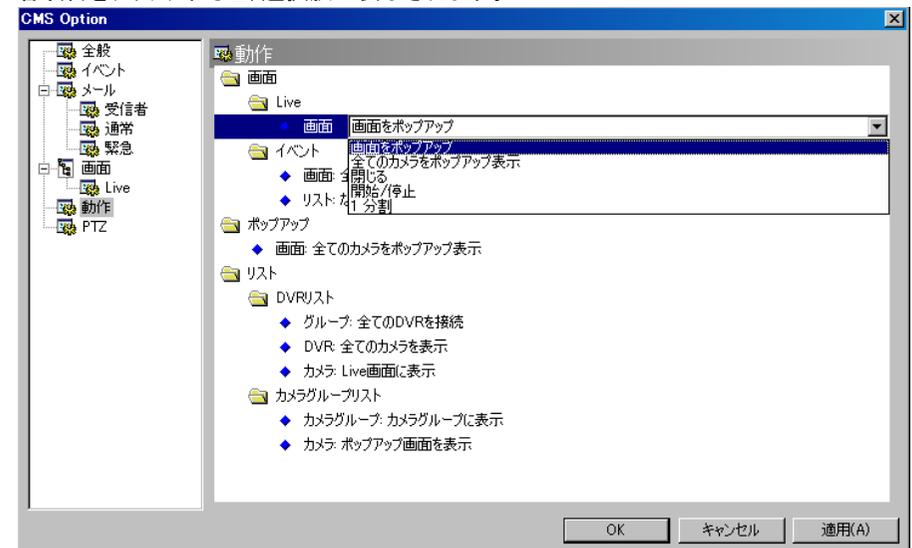
⑤「画面」では CMS 運用上、ライブ画面に関する設定ができます。



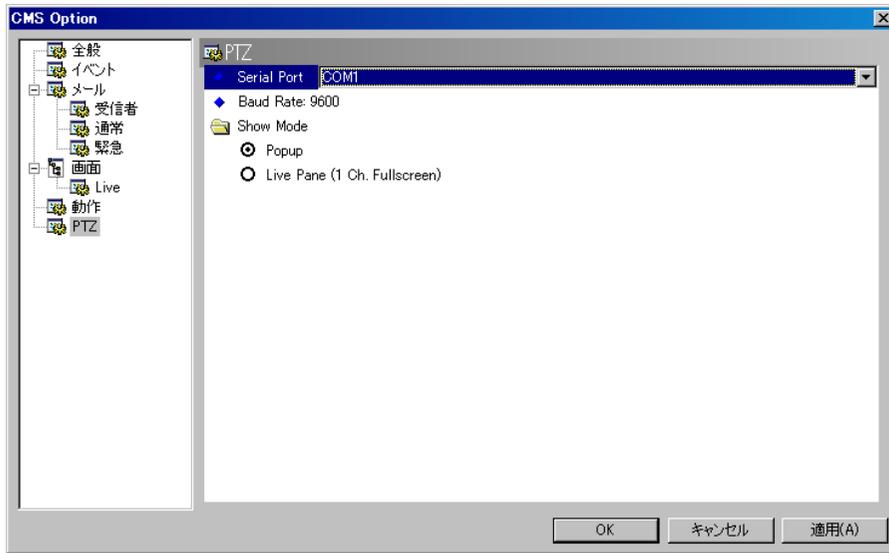
⑥「動作」では CMS 運用上、基本動作に関する設定ができます。



各項目をクリックすると、選択肢が表示されます。



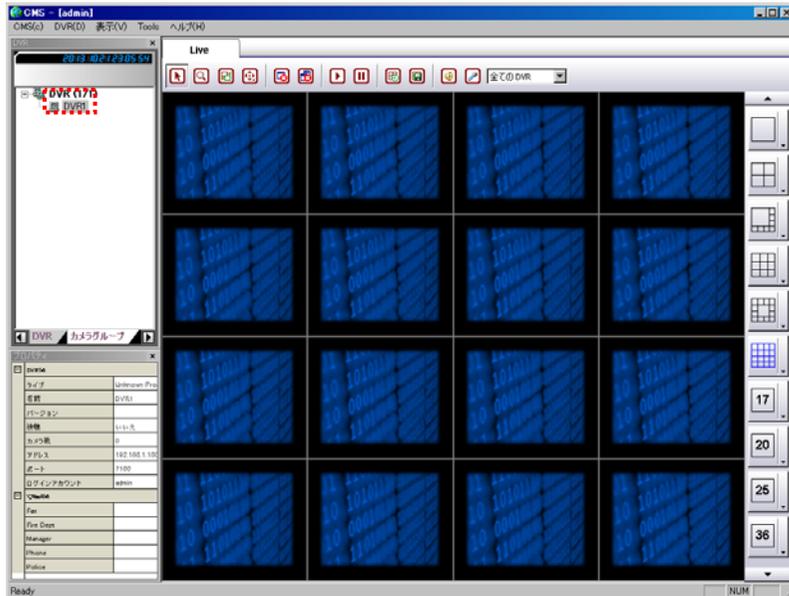
(7) 「PTZ」では CMS 上、PTZ 接続に関する設定ができます。



6. ライブ画面 ※DVR 接続

(1) リストから接続する DVR を選択します。

任意の DVR のアイコンをマウスでダブルクリック、もしくはドラッグ&ドロップします。



(2) ライブ画面のアイコン説明



1		選択: カメラ画面を左クリックして選択します。
2		ズーム: カメラ画面をマウスのホイールで拡大します。
3		画面入替え: ドラッグ&ドロップで画面を移動します。
4		カメラ PTZ 操作: 接続されている PTZ カメラを操作します。
5		カメラの接続の切断: 選択したカメラ画像の接続を切断します。画像は表示されなくなります。
6		全カメラの接続の切断: 録画装置に接続されている全カメラの接続を切断します。画像は表示されなくなります。
7		再生: 録画装置から伝送される動画を表示します。
8		停止: 静止画表示します。
9		シーケンス: 表示している画面パターンで切替表示します。
10		カメラグループ作成: 任意の表示パターンを登録します。
11		音声(受信)
12		音声(送信)
13		DVR リスト: 登録した DVR がリスト表示されます。

①選択

任意のカメラ画像をクリックすると枠が青色になります。

②電子ズーム

任意のカメラ画像をクリックして選択後、マウスホイールの上下操作で、ズームイン・アウトします。

③画面入替え

任意のカメラ画像をクリック後、左ボタンを押したままドラッグアンドドロップし、任意の画面位置に画像を移動します。移動した先のカメラ画像と表示位置が入れ替わります。

④PTZ 操作

録画装置に接続されている PTZ カメラの操作が可能です。

任意の PTZ カメラ画像をクリックすると、PTZ 操作アイコンが表示されます。マウスポインタも同じ表示になります。マウスでカメラ操作が可能です。

⑤カメラ接続の切断

このボタンをクリック後、任意のカメラ画像を選択します。カメラ画像が非表示になります。カメラが選択されている状態(青枠)でこのボタンをクリックしても、切断され、画像は非表示になります。

再度表示するには、DVR リストから当該カメラアイコンをダブルクリックするか、画面位置にドラッグ&ドロップします。

⑥全カメラの接続の切断

クリックすると、表示されている全カメラの画像が表示されなくなります。

再度表示するには、DVR リストから当該 DVR アイコンをダブルクリックするか、画面位置にドラッグ&ドロップします。

⑦再生

録画装置から伝送される動画を表示します。

⑧停止

動画を静止します。動画に戻すには、⑦再生ボタンをクリックします。

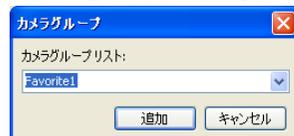
⑨シーケンス

表示画面を自動切換えて表示します。

単画面表示の場合は、順に CH1>CH2>CH3...と自動で切替え表示します。4 分割選択した場合は、CH1-4>CH5-8...と切り替えます。

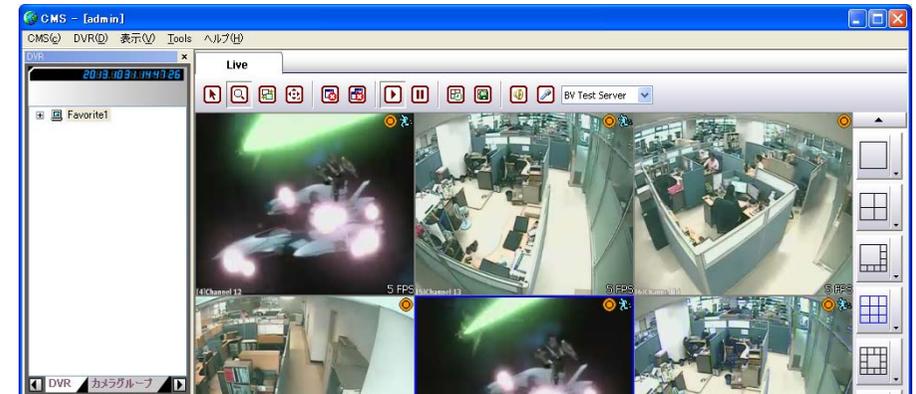
⑩カメラグループの登録

画面分割パターン、表示するカメラ、表示するカメラの位置を任意に選択し、このボタンをクリックします。「カメラグループ」ウィンドウが表示されます。任意の名前を登録し、「追加」をクリックします。



画面左側の「カメラグループ」タブに、登録したカメラグループが追加されます。

カメラ画像を画面に表示するには、カメラグループアイコンをダブルクリックします。



⑪音声(受信)

録画装置に音声が入力されている場合、CMS で受信します。

※CMS のコンピューターにスピーカーが接続されている必要があります。

⑫音声(送信)

録画装置へマイク等から音声を伝送します。

※録画装置にスピーカーが接続されている必要があります。

CMS のコンピューターにマイクが接続されている必要があります。

⑬DVR リスト

接続している録画装置がドロップダウンリストで表示されます。

(3) その他の操作

3) - 1. ポップアップ表示

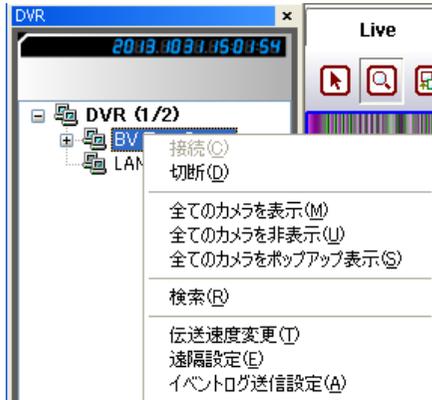
任意カメラ画像上でダブルクリックをするとそのカメラ画像がポップアップ表示されます。



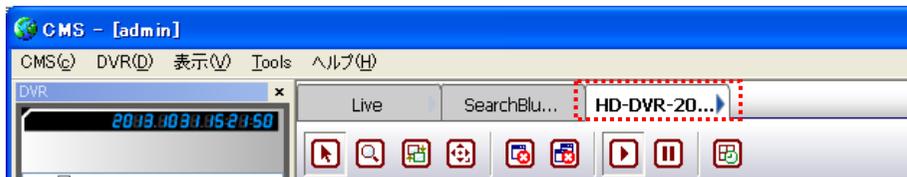
3) -2. サブメニュー表示

DVR アイコンを右クリックすると、サブメニューが表示されます。

(2)で説明したいくつかの操作は、サブメニューの中から実行できます。



①「全てのカメラをポップアップ表示」を選択すると、タブが 1 枚追加され全カメラが表示されます。



②伝送速度変更

HD-SDI 録画装置の伝送設定オプションでは、以下の項目を設定できます。

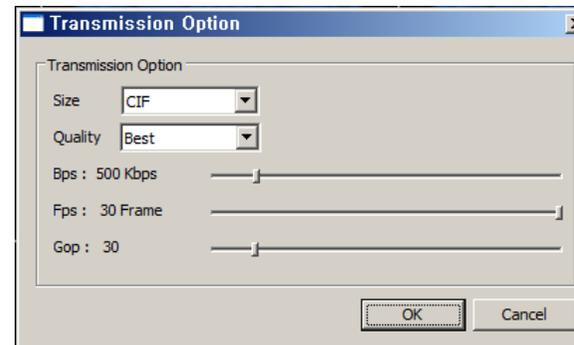
- 画像サイズ : REAL、QCIF、CIF、D1、720、1080
- 画質 : BEST、BETTER、GOOD、AVERAGE
- 伝送ビットレート : 10Kbps～4000Kbps
※画像サイズを選択すると推奨設定値が選択されます
- フレームレート : 1～30FPS (デフォルト 30)
- GOP : 1～250 (デフォルト 30)

※GOP(Group of Picture)

動画ファイルでは、フレーム単位でデータを圧縮して作られた I フレーム、前の I フレームを基準に、変化があった差分だけをデータ化して作られる P フレーム、前だけでなく後のフレームとの差分も利用する B フレームが存在する。1 つ以上の I フレームと複数の P/B フレームからなるひと固まりを GOP と呼びます。

数値が小さいほど、実画像に近づきます。

■TRD-H9000 シリーズ HD-SDI 録画装置 (デフォルト)

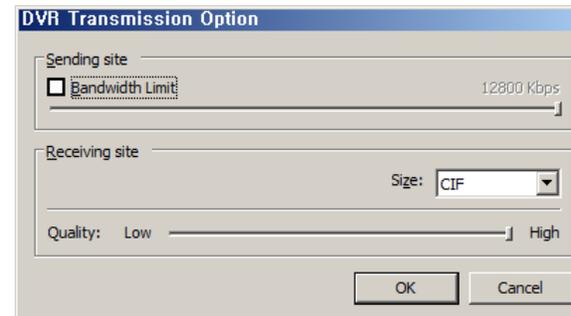


16 分割以上で表示する場合は、分割された画面サイズでは HD サイズの画像で表示されませんので、HD サイズを選択する必要はありません。

CMS 側で分割モードを単画面表示もしくは 4 分割表示にした際には、自動的に実際の画像サイズ(720 もしくは 1080)で表示されます。

ネットワークが専用回線等、十分な帯域がある場合は、画像サイズを「REAL」、GOP を「10」に設定することを推奨します。

■TRD-9000 シリーズ録画装置 (デフォルト)



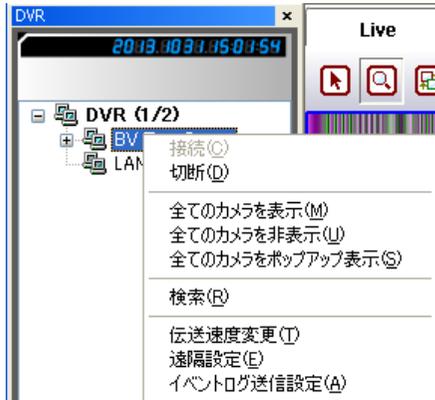
①録画装置からの送信

アナログビデオタイプの録画装置では、ビデオ帯域は無制限になっています。ネットワークの負荷等を考慮し、制限する場合は、「Bandwidth limit」にチェックをし、任意のビットレートを設定します。

②CMS での受信

- 画像サイズ : 受信する画像サイズを選択します。
- 画質 : 低～高 任意に選択します。

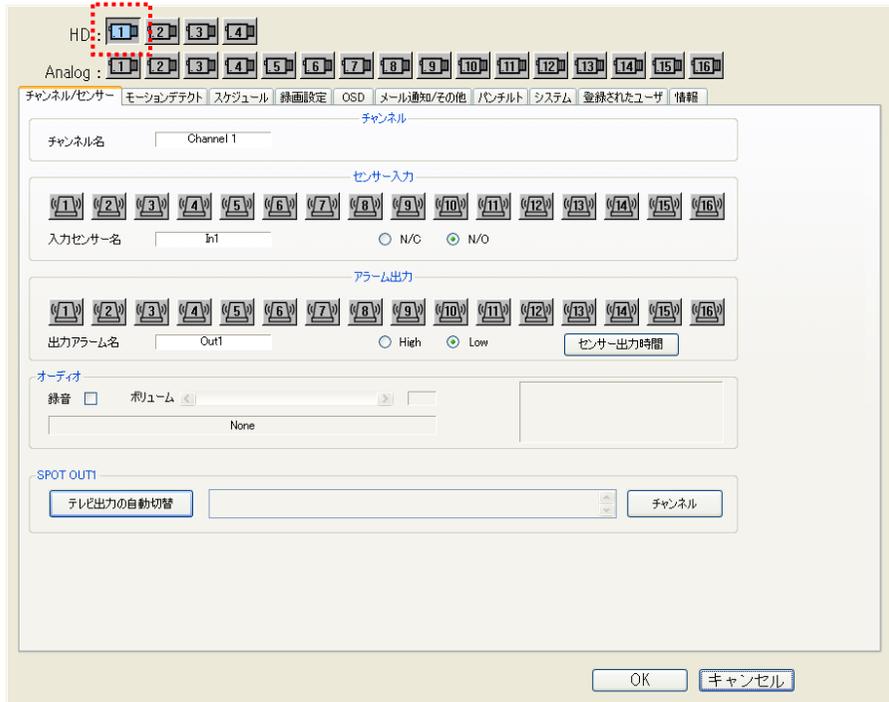
7. 遠隔設定 CMS から DVR 本体の設定を変更します。
DVR アイコンを右クリックすると、サブメニューが表示されます。
「遠隔設定」をクリックします。



注:

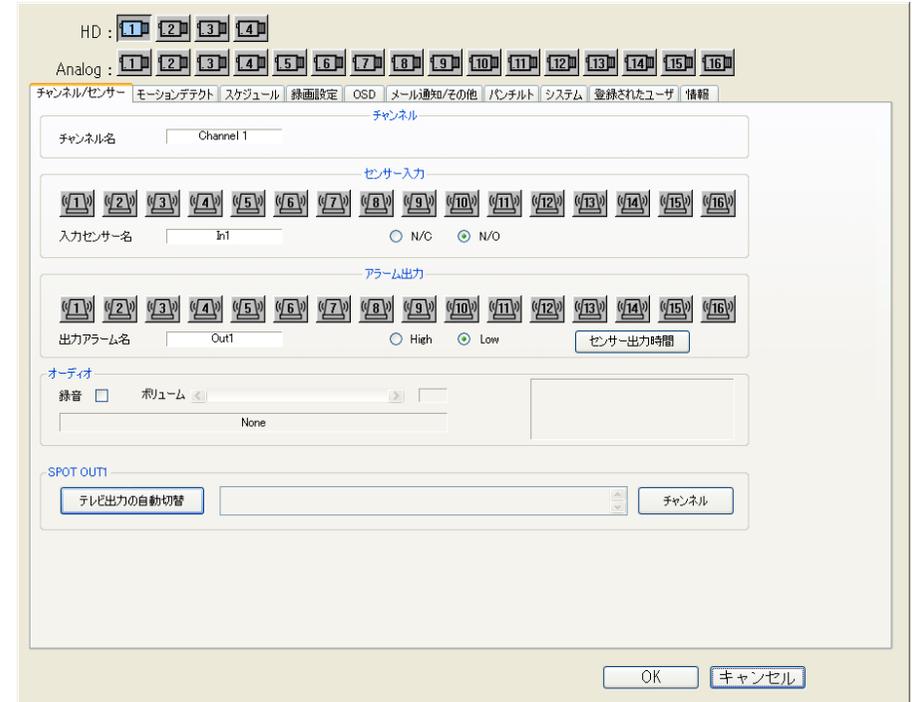
- 「遠隔設定」操作により表示される設定画面は、録画装置の機種により異なります。
- 録画装置側で設定を行っている際に、CMS からも設定を行わないようにしてください。
- 遠隔設定を行った際、録画装置に反映されるには、1 分程度かかります。その間に再度設定を行わないでください。

下図の画面が表示されます。ネットワーク環境により、表示まで数秒かかります。
設定は、チャンネル別に行います。
必ず、設定を行うチャンネルを選択後、各メニューのタブを選択してください。



※20ch ハイブリッドレコーダー(4ch HD-SDI、16ch アナログビデオ)の画面です。

(1) チャンネル/センサー



- ①チャンネル名 : 画面に表示されるチャンネル名 Channel1(デフォルト)を“入口”、“駐車場”等、任意の名前に変更できます。
キーボードが無い場合には仮想キーボードを利用して入力できます。
チャンネル名入力欄をクリックすると仮想キーボードが表示されます。
チャンネル名を表示しない場合は、スペースを入力してください。
- ②センサー入力 : チャンネルごとに複数のセンサーを入力することができます。
入力センサー名 : In1 任意の名前を入力します。
センサータイプ : センサータイプを選択します。
N/C=ノーマルオープン
N/O=ノーマルクローズ
- ③出力センサー名 : Out1 任意の名前を入力します。
アラーム出力 : 高 / 低 センサータイプに合わせて下さい
センサー出力時間 : 時間を設定します。
- ④オーディオ録音 : 録音に関する設定を行います。
録音 : 録画装置に接続しているマイク音声を選択したチャンネルに録音する場合、チェックを入れます。



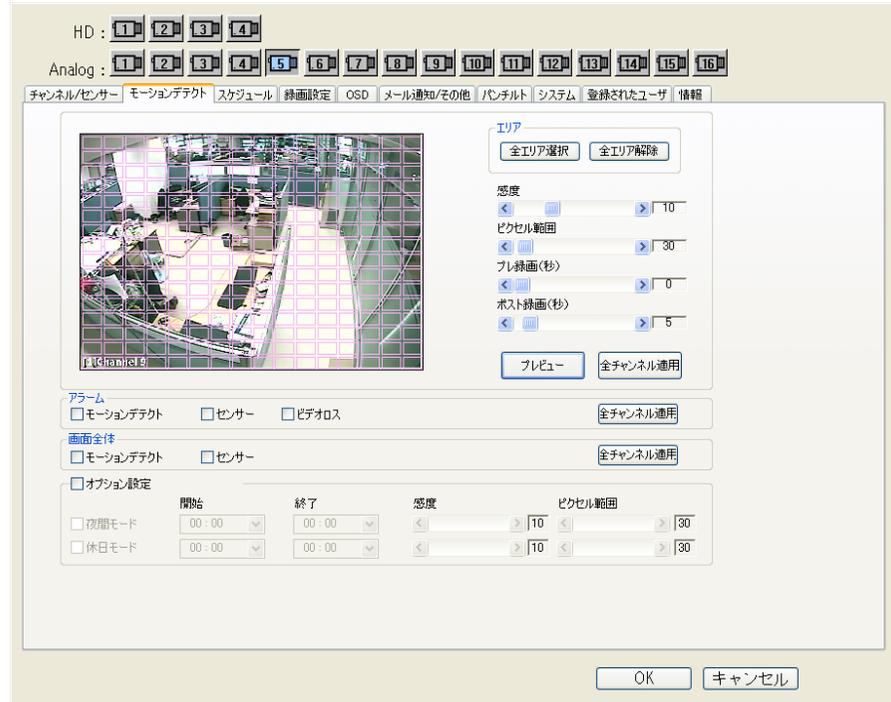
ボリューム : 録音にチェックを入れると、ボリュームの調整バーの調整ができます。バーをマウスでスライドして設定してください。

⑤スポット出力 : スポット出力端子から出力するチャンネルを選択します。

※HD-SDI 録画装置にはスポット出力はありません。

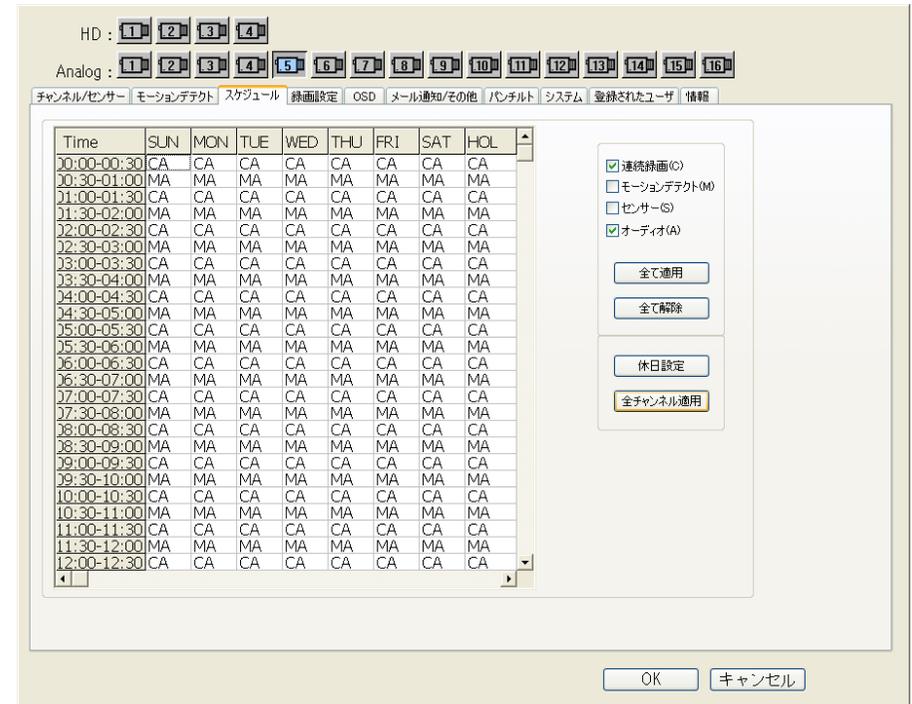
(2) モーション・ディテクション(動き検知)設定

検知エリアは全体が初期設定されています。



- ①エリア: 検知エリアを選択します。
- ②感度: カメラ設置環境に合わせて感度を調整してください。
- ③プレ録画: イベント発生時に、1~30秒(設定可)前の映像から録画します。
- ④ポスト録画: イベント発生時に、1~30秒(設定可)後の映像まで録画します。
- ⑤アラーム: モーション検知、センサー検知、ビデオ信号ロスなどのイベント発生時、内部ブザーが鳴ります。
- ⑥全体画面(ポップアップ): モーション検知、センサー検知などのイベントが発生すると当該画面が自動ポップアップ(全体画面)します。イベント終了後は自動で分割画面に戻ります。
- ⑦オプション設定: 夜間と休日のモーション検知設定ができます。

(3) スケジュール設定

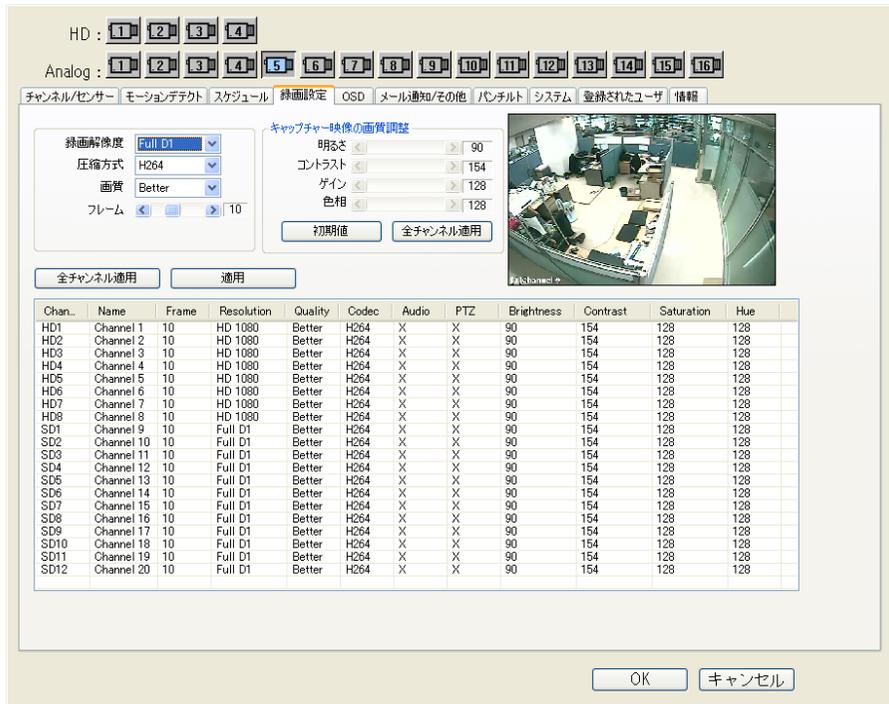


- ①C(Continuous) : 連続録画
- ②M(Motion) : モーションデテクト録画
- ③S(Sensor) : センサー録画
- ④A(Audio) : 録音
- ⑤全部設定 : 常時録画/モーションデテクト録画/センサー録画/録音が同時に選択されます。
- ⑥全部解除 : 常時録画/モーションデテクト録画/センサー録画/録音が同時に解除されます。
- ⑦休日設定 : 録画が必要ない日を設定します。
- ⑧全チャンネル適用 : 設定をすべてのカメラ入力チャンネルにコピーします。

注:

CMS から TRD-9216/TRD-9816(アナログ PowerDVR)を閲覧する場合、スケジュール録画で、例えば、9:00~18:00 を連続録画設定した場合、設定時間外はカメラ画像はCMS 側へ伝送されません。録画をしていない時間も常時ライブ映像を表示する場合は、センサーを接続してなくても、録画設定をしていない時間帯は「センサー」録画を設定してください。

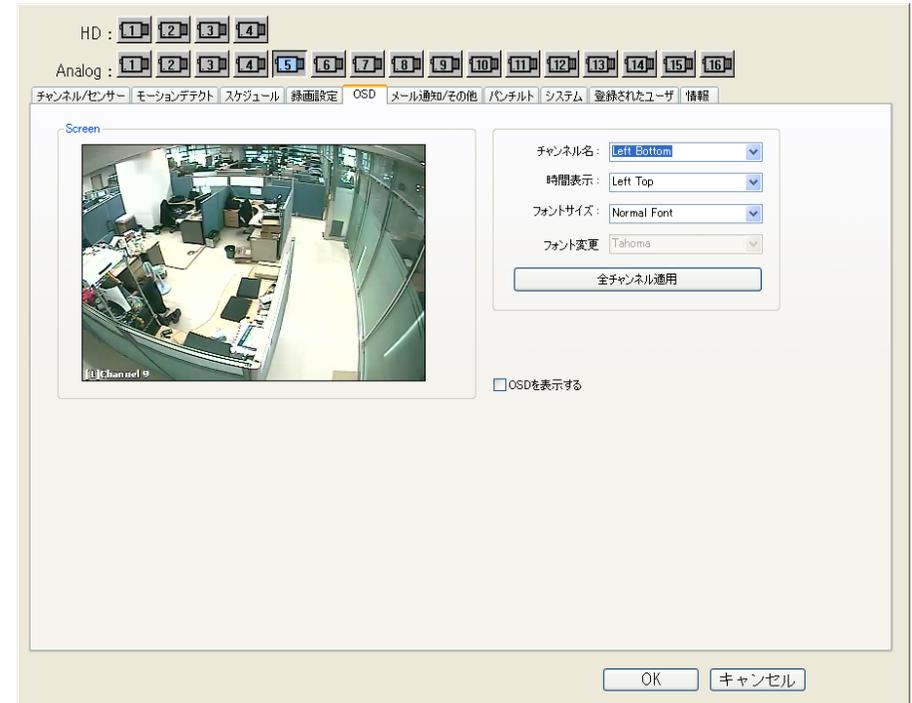
(4) 録画設定



- ①録画解像度 : HD 720, HD 960, HD 1080(HD カメラ)から選択します。
解像度が大きいほどデータ容量が大きくなり保存可能日数が短くなります。
- ②圧縮方式 : H.264/MPEG4 の圧縮方式を採用しています。
MPEG4 モデルには、H.264 選択肢はありません。
- ③画質 : 最高, 高, 普通, 低, 最低の5段階から選択します。
- ④録画フレーム : 1秒に何枚のイメージを保存するかを選択します。
- ⑤キャプチャー : プレビュー映像を見ながら明るさ、コントラスト、色合いなどを設定します。

(5) OSD 設定

チャンネルの名、時間表示など OSD の位置や大きさ、文字のフォントを指定できます。



- ①チャンネル名 : Left top, Right top, Left bottom, Right bottom
- ②時間表示 : Left top, Right top, Left bottom, Right bottom
- ③フォントサイズ : Big font, Middle font, Normal font, Small font
- ④フォント変更 : フォント、スタイル、大きさを選択します。

(6) メール通知/その他

The screenshot shows the 'メール通知/その他' configuration page. At the top, there are navigation tabs for 'チャンネル/センサー', 'モーションデテクト', 'スケジュール', '録画設定', 'OSD', 'メール通知/その他', 'パンチルト', 'システム', '登録されたユーザ', and '情報'. The 'メール通知/その他' tab is active. The main area contains several sections: 'メールアドレス設定' with fields for 'サーバー名' and 'メールアドレス'; '認証設定' with 'アカウント名' and 'パスワード' fields; 'メール送信イベント' with checkboxes for 'モーションデテクト', 'センサー', 'ビデオロス', and 'イメージ添付'; '送信するチャンネル' with a dropdown menu and a 'クリア' button; '範囲(秒)' and 'メール送信数' dropdowns; and 'その他' with checkboxes for 'チャンネル名表示', 'TV出力OSD表示', '映像表示', '録画アイコン表示', 'インターレース解除', and 'Display Original Ratio Screen', along with 'シーケンス' (5) and 'HDD容量表示' (100%) settings. 'OK' and 'キャンセル' buttons are at the bottom.

- ①サーバー名 : 送信メールサーバー(SMTP Server) を記入します。
- ②メールアドレス : 受信するメールアドレスを記入します。
- ③認証設定 : 送信メールサーバーが認証を必要とする場合、チェックをしてアカウントとパスワードを記入してください。
- ④伝送するイベント : イベント発生時、メールで伝送するイベント項目を選択します。
- ⑤伝送するチャンネル : イベント発生時、メールで伝送するチャンネルを選択します。
- ⑥その他 : DVR 起動後、画面表示に関する設定ができます。

(7) PTZ 設定

The screenshot shows the 'PTZ 設定' configuration page. At the top, there are navigation tabs for 'チャンネル/センサー', 'モーションデテクト', 'スケジュール', '録画設定', 'OSD', 'メール通知/その他', 'パンチルト', 'システム', '登録されたユーザ', and '情報'. The 'パンチルト' tab is active. The main area is split into two sections: 'パンチルト画面' on the left, which shows a live video feed of a control room, and 'PTZ設定' on the right. The 'PTZ設定' section includes dropdowns for 'メーカー' (None), 'プロトコル' (None), 'アドレス(ID)' (0), 'パン速度' (50), 'チルト速度' (50), and 'ズーム/フォーカス速度' (Slow). Below this is the 'シリアルポート設定' section with dropdowns for 'ポート' (COM1), '伝送速度' (0), 'パリティ' (0), 'データビット' (0), and '停止ビット' (1). 'OK' and 'キャンセル' buttons are at the bottom.

- ①プロトコル : 設置するPTZカメラのプロトコルを選択します。
- ②アドレス(ID) : 設置するPTZカメラの ID を選択します。
- ③Pan(水平回転)速度 : 左右速度を調整します。
- ④Tilt(垂直回転)速度 : 上下速度を調整します。
- ⑤ズーム、フォーカス : ズームとフォーカス速度を設定します。
- ⑥シリアルポート : 接続ポートやビットレート、パリティなどを設定します。

(8) 時刻同期設定

- ①時刻同期 : 時刻同期サーバーを選択します。
- ②システム時間 : 時間が合っていない場合は、変更後、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。
- ③自動再起動スケジュール: システムの安定した運用のため、自動再起動を設定し、録画装置本体の負荷を軽減します。
- ④自動ログアウト : システムの安全運用のため、設定した時間を経過すると自動ログアウトします。
- ⑤システムデバイス : 録画装置本体と連動するデバイスを設定します。

(9) ユーザー設定

User	S..	S..	B..	P..	Pos	R..	Exit	S..	R..	Channel
admin	V	V	V	V	V	V	V	V	V	H1,H2,H3,H4,H5,H6,H7,H8,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12
User1	V	V	V	V				V		H1,H2,H3,H4,H5,H6,H7,H8,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12
User2		V	V	V						H1,H2,H3,H4,H5,H6,H7,H8,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12

ユーザーの ID とパスワードを追加し、それぞれの ID に、権限を任意に設定できます。ID、パスワードを入力後、任意の権限項目にチェックを入れ、OK をクリックします。登録されているユーザーの情報を訂正もしくは、削除することができます。

(10) 情報

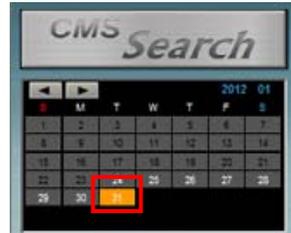
本体のモデル名とプログラムバージョン、CMS バージョンなどの情報を表示します。

8. 検索

(1) DVR リストからマウス右クリックして「検索」を選択します。

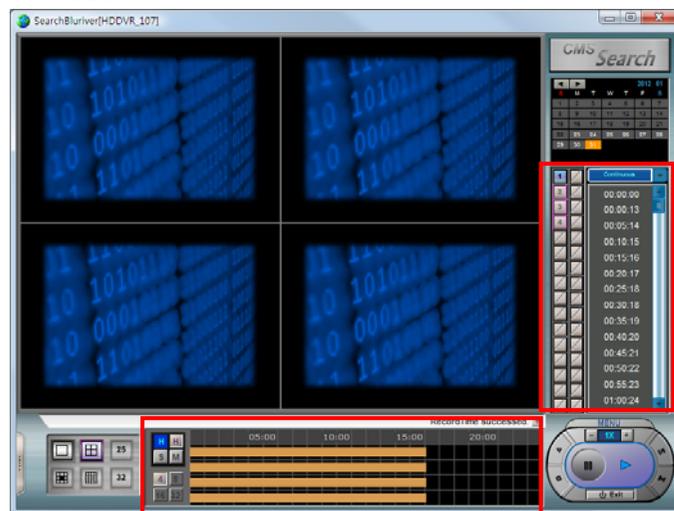


(2) カレンダーから日付を選択します。



録画データがある日はオレンジ色で表示されます。

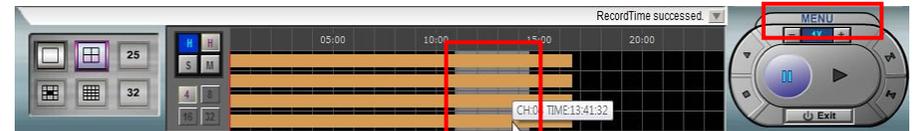
(3) 時間リストまたはタイムラインから検索したいデータを選択すると自動的に再生が開始します。



(4) 再生速度調整や I フレーム*1 再生などが操作できます。



9. リモートバックアップ



- ①バックアップデータをタイムラインからマウス右ドラッグで選択します。
- ②メニューボタンを押すと、メニューが表示されます。
- ③リモートバックアップボタンをクリックします。



- 繰り返し再生
- Save Image: 画面キャプチャー
- Print Image: 印刷
- Remote Backup: リモート保存

■ボタンの説明



- /+ : 再生倍速設定
- || : 一時停止
- ▶ : 再生
- ◀ : 逆再生
- ⏸ : コマ送り
- ◀◀ : 逆コマ送り
- : 停止

④保存するドライブ(HDD、USB、CD、DVRなど)・時間・カメラなどの詳細を設定します。



セーブ：保存先ドライブ

抽出時間：

年月日を指定します。
開始時間～終了時間を指定します。

ライブ映像：チャンネルを選択します。
全チャンネルを選択する場合は、「全体」をクリックします。

※保存先の空き容量とバックアップするデータ量にご注意ください。

容量が足りない場合は、時間を短くするか、空き容量の大きなデバイスをご用意ください。

⑤暗号化を使用する場合は、チェックします。

抽出するデータ形式を選択します。

- ・EXE 形式を選択すると、選択したチャンネル全てを分割画面表示にした1ファイルでバックアップされます。
 - ・AVI 形式を選択すると、チャンネル毎のファイルでバックアップされます。
- 保存をクリックします。

⑥パスワードを入力します。(6桁から20桁まで入力できます。)



⑦OK ボタンをクリックするとバックアップが開始され、終了後、バックアップ完了メッセージが出力されます。

⑧バックアップデータは指定したドライブから確認できます。

注：

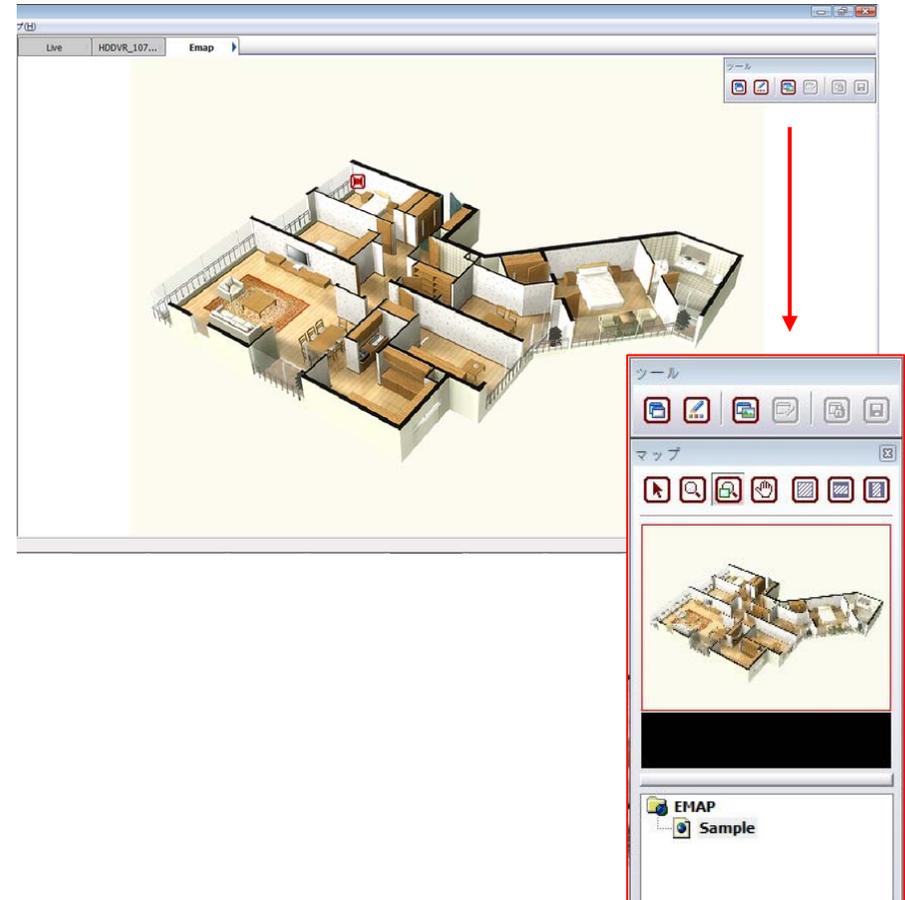
ファイルを別のコンピューターで再生する場合は、専用の「DVR コーデック」が必要です。
再生できない場合は、販売元・製造元にお問い合わせください。

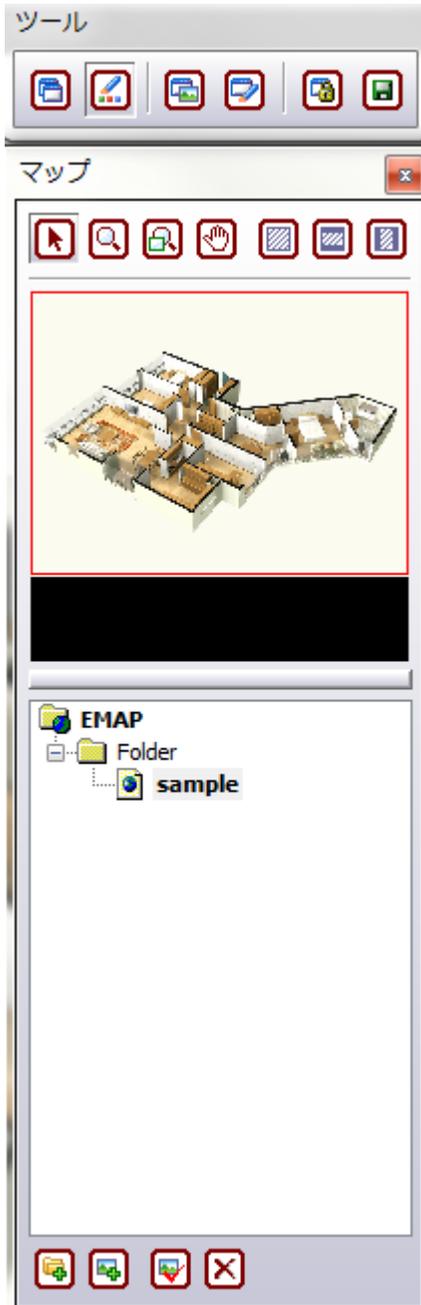
10. E-MAP

(1) メニューの「表示」→「E-MAP 画面」を選択します。



(2) ツールからマップの追加や編集、カメラや DVR、センサーなどの配置や位置調整などができます。





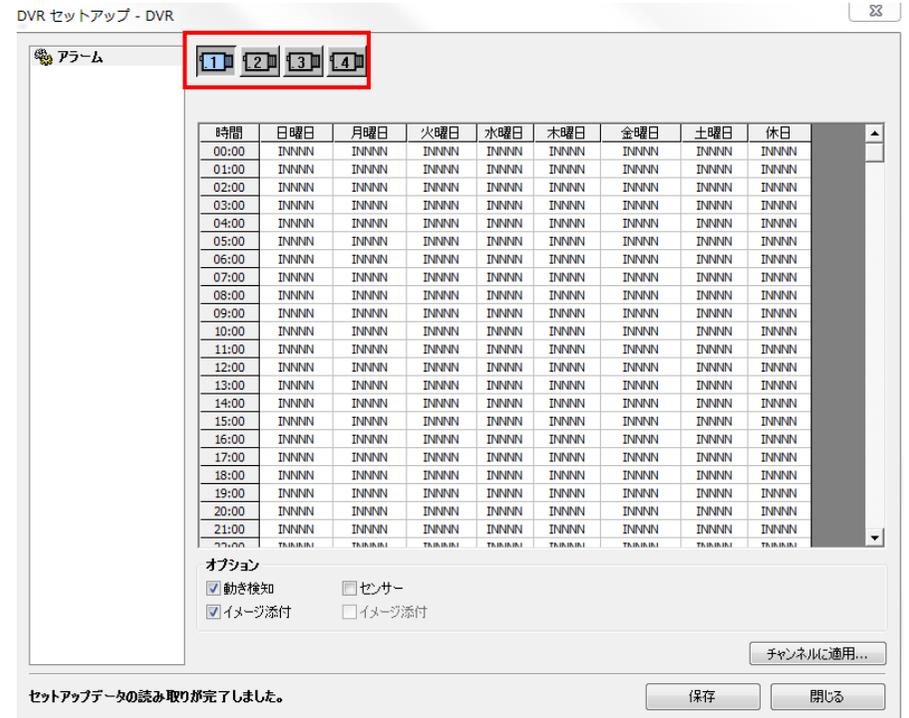
- ツールアイコン
- ツールを閉じる
 - 編集開始
 - マップ編集
 - シンボルアイコン配置
 - シンボルアイコン固定
 - MAP 保存
- マップアイコン
- 選択
 - 拡大
 - 部分拡大
 - 移動
 - 画面サイズに合わせる
 - 画面横サイズに合わせる
 - 画面縦サイズに合わせる
 - 新しいフォルダを追加
 - 新しい MAP 追加
 - 修正
 - 削除

11. イベントログ設定

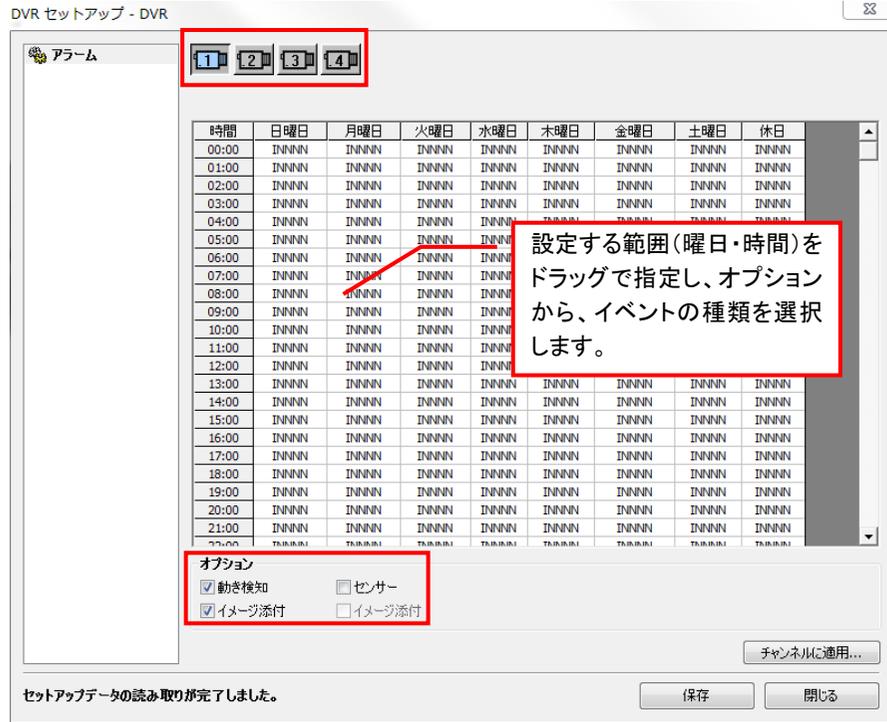
(1) DVR リストからマウス右クリックして「イベントログ設定」を選択します。



(2) イベントログを送信するカメラを選択します。



送信するイベントを選択します。時間・曜日別に細かい設定ができます。



- NNNNN : 何も送信しない
- DNNNN : モーション検知のみ送信
- INNNN : モーション検知(+イメージ)送信
- IDNNN : モーション検知(+イメージ)+センサー送信
- IINNN : モーション検知(+イメージ)+センサー(+イメージ)送信
- DINNN : モーション検知+センサー(+イメージ)送信
- NINNN : センサー(+イメージ)送信
- NDNNN : センサーのみ送信
- DDNNN : モーション検知+センサー送信

(3) チャンネル選択 イベントを設定するチャンネルを設定します。

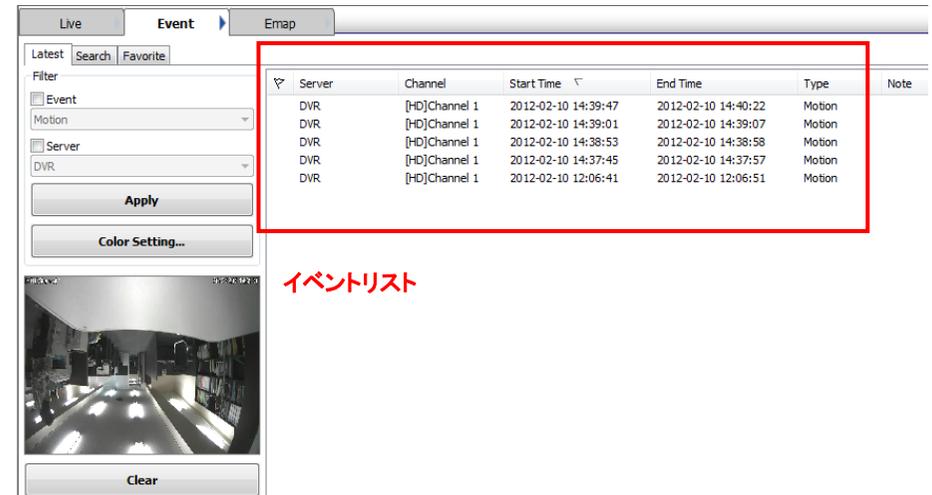


12. イベント画面

(1) メニューの「表示」→「イベント画面」を選択します。

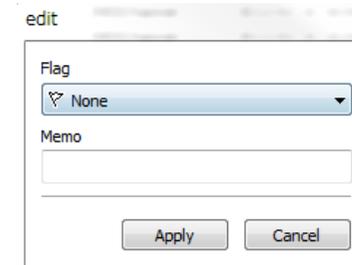


(2) 受信するサーバーやイベントなどを選択します。



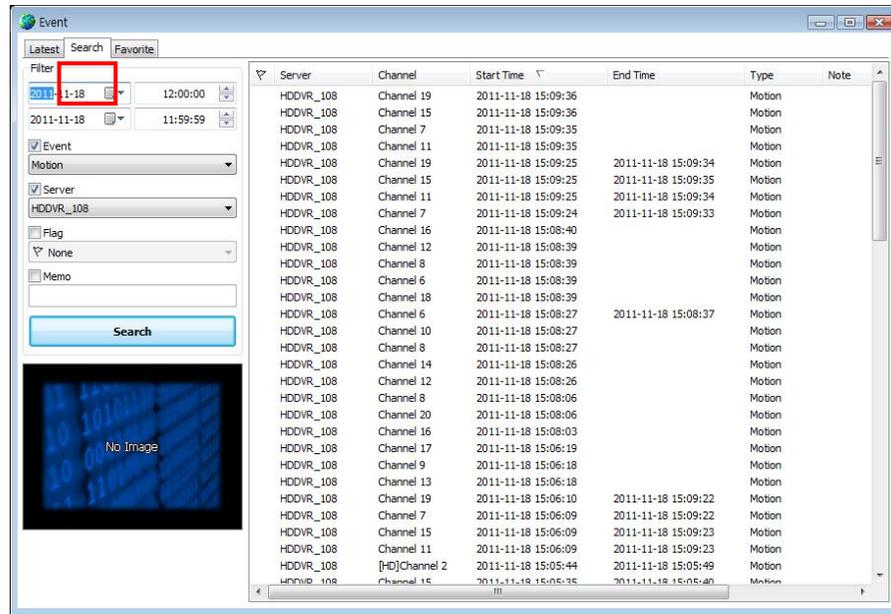
(3) イベントログリストからログを選択(ダブルクリック)すると、静止画の確認ができます。

(4) イベントログリストからログを選択(ダブルクリック)すると、メモを記録保存することができます。



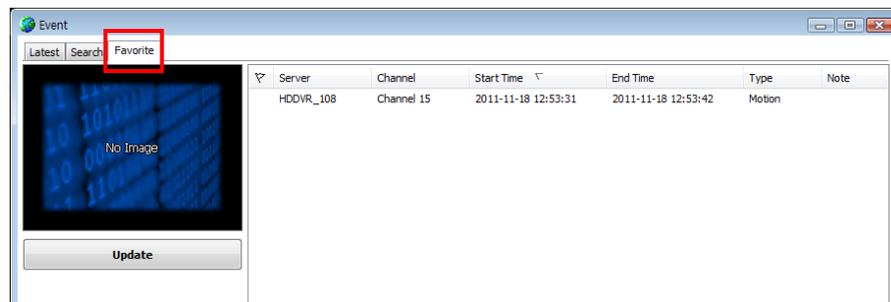
(5) イベントログ検索

過去のイベントを検索し、確認することができます。



(6) イベントログお気に入り

重要なイベントログを「FAVORITE(お気に入り)」に追加しておく、いつでも簡単に確認することができます。



13. S.M.A.R.T

※録画装置の録画状態やハードウェアの温度などを確認できます。

(1) メニューの「表示」→「S.M.A.R.T」を選択します。



(2) CMSに接続されている複数のDVRを確認することができます。

